

# 第2章

---

## 本県の食と農業・農村の動向

---

## 平成 28 年農業農村総生産額（県農政部推計）

平成 28 年の農業農村総生産額（推計）は 3,117 億円となり、前年とほぼ同額（対前年比 100.0%）となり、29 年度の目標である 3,050 億円を超える結果となった。

これは、果樹の改植などにより一時的に生産量が減少したことに加え、野菜の価格が平成 27 年に比べやや低めに推移したものの、米の価格が回復したことなどによるもの。

第 2 期長野県食と農業農村振興計画の経済努力目標（平成 29 年度）と比較すると、102.2%の達成率となった。

### ➤ 農産物産出額（注 1）

平成 28 年の農産物産出額（推計）は 2,901 億円となり、前年に比べて 15 億円の減少（対前年比 99.5%）となったが、目標の 2,800 億円を 101 億円上回る結果となった。

これは、主力である野菜が需要に応じた適正生産の取組を進めたものの、価格が 27 年よりやや低く推移したこと、また、りんご、ぶどうなどの果樹も県のオリジナル品種への改植が進み、一時的に生産量が減少したことなどによるもの。

### ➤ 農業関連産出額（注 2）

平成 28 年の農業関連産出額（推計）は 216 億円となり、前年に比べて 14 億円の増加（対前年比 106.9%）となった。

これは、信州サーモンなどのブランド魚の出荷が本格化したことにより水産が増加したこと、大きな災害がなく、観光農業への取組が回復したこと、新たに 6 次産業化に取り組む農業者の事業が徐々に実績を上げ始めたことから、農産加工が増加したことなどによるもの。

長野県の農業農村総生産額（長野県農政部推計）

区 分	22年 (基準年)		27年		対前年比 27年/26年	28年①		対前年比 28年/27年	29年② (目標年)		①/②
	億円	%	億円	%		億円	%		億円	%	
農 産 物 産 出 額	2,738	100.0	2,916	100.0	103.5	2,901	100.0	99.5	2,800	103.6	
米	428	15.6	422	14.5	105.0	450	15.5	106.6	473	95.1	
麦 類	5	0.2	4	0.1	100.0	4	0.1	100.0	5	80.0	
雑 穀 ・ 豆 類	13	0.5	13	0.4	118.2	10	0.3	76.9	16	62.5	
野 菜	801	29.3	899	30.8	106.0	869	30.0	96.7	790	110.0	
果 実	485	17.7	558	19.1	102.6	553	19.1	99.1	490	112.9	
花 き	161	5.9	149	5.1	103.5	148	5.1	99.3	160	92.5	
その他の農産物	63	2.3	67	2.3	98.5	66	2.3	98.5	72	91.7	
畜 産	288	10.5	308	10.6	102.3	311	10.7	101.0	305	102.0	
栽 培 き の こ	495	18.1	496	17.0	100.0	490	16.9	98.8	490	100.0	
農 業 関 連 産 出 額	170	100.0	202	100.0	100.5	216	100.0	106.9	250	86.4	
水 産	55	32.4	50	24.8	100.0	55	25.5	110.0	57	96.5	
農 産 加 工	55	32.4	71	35.1	104.4	78	36.1	109.9	108	72.2	
観 光 農 業	60	35.3	81	40.1	97.6	83	38.4	102.5	85	97.6	
農 業 農 村 総 生 産 額	2,908	—	3,118	—	103.3	3,117	—	100.0	3,050	102.2	

### 注 1) 農産物産出額

平成 22 年産、平成 27 年産は、農林水産省大臣官房統計部公表数値である。

平成 28 年産は現在公表されていないため、県農政部の推計値である。（農林水産省公表の作物別生産量等に、JA等の販売単価等を基に県が独自推計した単価を乗じて算出した）

### 注 2) 農業関連産出額

県農政部の推計値である。

## 農産物主要品目の平成28年産生産実績

### 【土地利用型作物】

米	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	34,600	34,400	33,900	33,200	32,700 (98%)	31,398
10a 収量 (kg/10a)	612	632	597	604	624 (103%)	621
生産量 (t)	211,800	217,400	202,400	200,500	204,000 (102%)	194,982

#### 【28年産解説】

作付面積は、生産数量目標が減少したため、前年をわずかに下回った。  
 生産量は、登熟期間中の天候に恵まれたため、作柄はやや良となり前年をやや上回った。  
 価格は、全国の作柄がやや良となったが、生産面積の減少や新規需要米の取組拡大などから需給バランスが安定し、前年産を上回る水準で推移している。

麦	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	2,410	2,560	2,650	2,740	2,820 (103%)	2,850
10a 収量 (kg/10a)	303	298	337	338	339 (100%)	410
生産量 (t)	7,310	7,630	8,920	9,250	9,560 (103%)	11,700

#### 【28年産解説】

作付面積は、大小麦とも、前年より微増となった。  
 生産量は、4月の凍霜害等の影響があったものの、越冬後の生育量が確保されていたことから、単収は平年並みとなり、作付面積の増加から前年を上回った。  
 価格は、大麦は前年とほぼ同額であったが、小麦は国際相場の影響からやや値上がりした。

大豆	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	2,370	2,090	2,050	2,120	2,170 (102%)	2,500
10a 収量 (kg/10a)	145	163	165	167	169 (101%)	200
生産量 (t)	3,440	3,410	3,380	3,540	3,670 (104%)	5,000

#### 【28年産解説】

作付面積は、県産大豆の需要増などから前年より微増となった。  
 生産量は、湿害等の発生が少なく、生育量が確保されたことなどから、単収は平年をやや上回り、前年を上回った。  
 価格は、全国的な作付面積増加により生産量が増加したことなどから、前年より値下がりがした。

そば	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	2,960	3,890	4,060	3,970	4,130 (104%)	4,000
10a 収量 (kg/10a)	75	69	63	59	43 (73%)	90
生産量 (t)	2,220	2,680	2,580	2,340	1,780 (76%)	3,600

【28年産解説】  
 作付面積は、田・畑ともに増加し、前年を上回った。  
 生産量は、9月以降の天候不順の影響から結実不良や倒伏が発生し、単収が平年よりかなり少なかったことから、前年を大きく下回った。  
 価格は、全国的な作付面積がやや増加したものの、県産そばが不作であったことから高値で取引された。

## 【果 樹】

りんご	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	8,180	7,980	7,900	7,870	7,850 (99%)	7,810
10a 収量 (kg/10a)	1,771	1,946	2,062	2,060	1,880 (91%)	2,074
生産量 (t)	144,900	155,300	162,900	157,200	142,100 (90%)	162,000

【28年産解説】  
 作付面積は、前年並みであった。  
 生産量は、新品種等への改植が進み結果樹面積が減少したこと、また、ふじの凍霜害による着果量の減少により前年をかなりの程度下回った。  
 価格は、主産県の出荷量が減少したことにより堅調に推移し、前年をかなりの程度上回った。

ぶどう	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	2,440	2,430	2,400	2,400	2,430 (101%)	2,450
10a 収量 (kg/10a)	980	1,103	1,229	1,240	1,250 (101%)	1,094
生産量 (t)	23,900	26,800	29,500	28,300	28,800 (102%)	26,800

【28年産解説】  
 作付面積は、シャインマスカット等の新植が増加したことから前年をわずかに上回った。  
 生産量は、品目転換等による改植が進んでおり、成園を迎えたほ場もあることから前年をわずかに上回った。  
 価格は、シャインマスカットの需要が増加していることと、貯蔵技術を活用した長期出荷により、堅調に推移し前年をかなり大きく上回った。

なし	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	1,030	948	905	875	870 (99%)	920
10a 収量 (kg/10a)	1,825	1,625	1,981	1,910	1,908 (100%)	2,011
生産量 (t)	18,800	15,400	17,930	16,520	16,490 (99%)	18,500

【28年産解説】

作付面積は、前年並みであった。

生産量は、肥大は良好であったことから、前年並みとなった。

価格は、主産県の出荷ピークと重なることもなく、堅調に推移し前年並みとなった。

もも	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	1,200	1,150	1,130	1,120	1,100 (98%)	1,110
10a 収量 (kg/10a)	1,400	1,339	1,442	1,510	1,530 (101%)	1,604
生産量 (t)	16,800	15,400	16,300	15,900	16,100 (101%)	17,800

【28年産解説】

作付面積は、高齢化による経営中止により前年をわずかに下回った。

生産量は、生育が順調であり、梅雨の曇天の影響でロスが多かった前年をわずかに上回った。

価格は、西日本の主産地の生産量が減少したことから、堅調に推移し前年をやや上回った。

【野菜】

レタス	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	5,790	5,900	5,870	5,940	6,030 (102%)	5,910
10a 収量 (kg/10a)	2,961	3,400	3,293	3,224	3,413 (106%)	3,146
生産量 (t)	171,400	200,600	193,300	191,500	205,800 (107%)	187,000

【28年産解説】

作付面積は、前年の価格が堅調であったことから生産意欲が高く、前年をわずかに上回った。

生産量は、天候に恵まれたことから、豊作基調となり、前年をかなりの程度上回った。

価格は、夏場豊作基調であったことから下落し、前年を大幅に下回った。

はくさい	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	2,750	2,750	2,730	2,760	2,780 (100%)	2,500
10a 収量 (kg/10a)	7,452	8,150	8,147	8,054	8,248 (102%)	7,400
生産量 (t)	202,700	224,200	222,400	222,300	222,300 (103%)	185,000

【28 年産解説】  
 作付面積は、前年の価格が堅調だったことから生産意欲は高かったものの、生産者、県、市町村、出荷団体による産地をあげての夏はくさいの適正生産の取組(期間:7月～8月10日)が継続されたことから、前年並みとなった。  
 生産量は、夏場の天候に恵まれ前年をやや上回った。  
 価格は、適正生産の取組みにより堅調に推移したものの、好調だった前年をかなりの程度下回った。

キャベツ	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	1,470	1,460	1,500	1,490	1,510 (101%)	1,600
10a 収量 (kg/10a)	4,033	4,370	4,407	4,276	4,457 (104%)	4,500
生産量 (t)	59,300	63,800	66,100	63,700	67,300 (106%)	72,000

【28 年産解説】  
 作付面積は、前年をわずかに上回った。  
 生産量は、夏場天候に恵まれ、作柄が悪かった前年をやや上回った。  
 価格は、堅調に推移したものの、全国的な品薄傾向の中で順調だった前年をかなりの程度下回った。

ブロッコリー	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	815	825	836	862	871 (101%)	850
10a 収量 (kg/10a)	930	950	934	956	1,020 (107%)	953
生産量 (t)	7,050	7,840	7,810	8,240	8,880 (108%)	8,100

【28 年産解説】  
 作付面積は、夏はくさい適正生産の取組みによる代替え品目として、また水田地帯への導入により前年をわずかに上回った。  
 生産量は、夏場の天候に恵まれたため前年をかなりの程度上回った。  
 価格は、需要がある中堅調に推移し、前年をかなり大きく上回った。

アスパラガス	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	1,300	1,060	1,010	971	940 (97%)	1,400
10a 収量 (kg/10a)	248	264	250	246	380 (154%)	430
生産量 (t)	3,450	2,800	2,530	2,390	3,570 (149%)	5,600

【28年産解説】

作付面積は、生産者の高齢化等により、前年をやや下回った。

生産量は、春先から天候に恵まれ、作柄が悪かった前年を大幅に上回った。

価格は、春先から他県産地とのルー出荷がスムーズに行われたことから、前年をわずかに上回った。

トマト	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	438	410	404	399	383 (96%)	450
10a 収量 (kg/10a)	4,940	5,290	5,223	5,163	5,300 (103%)	6,222
生産量 (t)	22,200	21,700	21,100	20,600	20,300 (99%)	28,000

【28年産解説】

作付面積は、生産者の高齢化等によりジュース用トマトが減少したことから、前年をやや下回った。

生産量は、天候に恵まれたことから単収が増加したものの、面積が減少したことから、前年をわずかに下回った。

価格は、需要がある中堅調に推移し、全国的な品薄傾向で好調だった前年をわずかに上回った。

きゅうり	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	425	405	403	403	403 (100%)	430
10a 収量 (kg/10a)	3,829	3,880	3,747	3,697	3,747 (101%)	4,418
生産量 (t)	16,200	15,700	15,100	14,900	15,100 (101%)	19,000

【28年産解説】

作付面積は、前年並みであった。

生産量は、天候に恵まれ豊作基調となったことから、前年をわずかに上回った。

価格は、豊作基調の中潤沢に市場に出回り、前年をやや下回った。

## 【花 き】

キク	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	138	130	122	120	117 (98%)	111
10a 収量 (本/10a)	26,304	27,615	27,459	27,417	26,752 (98%)	27,297
生産量 (千本)	36,300	35,900	33,500	32,900	31,300 (95%)	30,300

### 【28年産解説】

作付面積は、生産者の高齢化により前年をわずかに下回った。  
 生産量は、輪ギク生産者の高齢化による減少と、白さび病の多発生による作柄低下により、旧盆等物日をターゲットとしたコギクの増産があったものの、前年をやや下回った。  
 価格は、秋の需要期の作柄不良により入荷量が減少し、前年をわずかに上回った。

カーネーション	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	96	92	83	84	83 (99%)	88
10a 収量 (本/10a)	64,760	60,000	61,064	61,786	63,156 (102%)	68,182
生産量 (千本)	62,300	55,200	50,500	51,900	52,420 (101%)	60,000

### 【28年産解説】

作付面積は、一部経営中止により、前年をわずかに下回った。  
 生産量は、6月の一番花の出荷は順調であったが、秋の曇天の影響で出荷量が減少したため、年間を通して前年をわずかに上回った。  
 価格は、一番花の出荷集中により単価安となったため、秋に作柄低下による品薄・単価高となったものの、年間を通して、前年をわずかに下回った。

リンドウ	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	39	37	34	33	32 (97%)	38
10a 収量 (本/10a)	19,115	15,176	11,763	12,061	12,187 (101%)	20,263
生産量 (千本)	7,493	5,600	4,023	3,980	3,900 (98%)	7,700

### 【28年産解説】

作付面積は、生産者の高齢化に伴う離農等により、前年をわずかに下回った。  
 生産量は、生産者数の減少と、夏期の高温による品質低下により、前年をわずかに下回った。  
 価格は、全国的な出荷集中により前年をやや下回った。



トルコギキョウ	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	51	51	47	48	47 (98%)	58
10a 収量 (本/10a)	26,336	26,078	26,652	25,625	25,744 (100%)	25,345
生産量 (千本)	13,300	13,300	12,500	12,300	12,100 (98%)	14,700

**【28年産解説】**  
 作付面積は、営農組織において一部で作付拡大が図られたが、高齢化による自然減の影響を受け、全体では前年をわずかに下回った。  
 生産量は、高温による出荷前進化と、連作障害による出荷減により、前年をわずかに下回った。  
 価格は、全国的な供給量の減少と長野県産の品種に対する評価が高まり、前年をわずかに上回った。

アルストロメリア	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	25	27	25	24	24 (100%)	28
10a 収量 (本/10a)	72,510	75,000	83,871	81,481	78,333 (96%)	78,571
生産量 (千本)	18,200	20,100	20,800	19,800	18,800 (95%)	22,000

**【28年産解説】**  
 作付面積は、一部経営中止があったものの、ほぼ前年並みとなった。  
 生産量は、冬期から夏期にかけては作柄が良好であったが、秋期の曇天の影響によりシュート発生数が減少し、前年をやや下回った。  
 価格は、主産地の作柄低下による品薄傾向により、前年をやや上回った。

鉢花類	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
作付面積 (ha)	87	87	86	85	85 (100%)	77
生産量 (千鉢)	21,010	21,190	20,530	20,870	20,810 (100%)	18,700

**【28年産解説】※シクラメンを中心に解説**  
 作付面積は、一部経営中止により、前年をわずかに下回ったものの、苗物類の面積が増加し、ほぼ前年並みとなった。  
 シクラメンの生産量は、経営の中止や品目転換により、前年をやや下回ったものの、苗物類の生産が増加し、ほぼ前年並みとなった。  
 鉢花類全般に、全国的に潤沢な流通量があり、価格は前年をやや下回った。

## 【きのこ】

えのきたけ	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
生産量 (t)	86,070	83,903	83,470	81,213	82,325 (101%)	94,426

【28年産解説】  
生産量は、前年の高単価を受け生産者の増産意欲が高まり、前年をわずかに上回った。  
価格は、消費量の低下、夏場の生産調整不足等が影響し、前年をやや下回った。

ぶなしめじ	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
生産量 (t)	47,868	46,154	47,382	49,864	49,807 (100%)	55,746

【28年産解説】  
生産量は、前年並みであった。  
価格は、企業中心に出荷量が多い中、消費量の低下により前年をやや下回った。

## 【畜産】

乳用牛	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
頭数	19,800	18,300	17,600	16,600	16,300 (98%)	19,200
生産量 (t)	116,345	108,650	106,587	106,056	102,739 (97%)	117,400

【28年産解説】  
飼養頭数は、高齢化等による経営中止の影響が大きく、前年をやや下回った。  
生産量は、飼養頭数の減少と1頭当たりの搾乳量が増えなかったことにより、前年をやや下回った。  
乳価は、前年並みを維持した。

肉用牛	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
頭数	29,500	26,400	24,200	23,000	22,100 (96%)	28,500
生産量 (t)	7,064	6,354	6,144	5,548	5,212 (94%)	6,552

【28年産解説】  
飼養頭数は、配合飼料の高止まりや高齢化等の影響により飼養戸数が減少し、前年をやや下回った。  
生産量は、肥育素牛の高騰等により肥育頭数が減少したため前年を下回った。  
枝肉価格は、全国的な生産量の減少等を背景に依然として上昇傾向となった。

豚	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
頭数	75,000	73,800	74,300	74,000	73,100 (99%)	75,900
生産量 (t)	11,518	11,908	11,213	11,158	11,022 (99%)	11,530

【28年産解説】  
飼養頭数及び生産量は、ほぼ前年並みとなった。  
枝肉価格は4～6月に前年を上回ったが、7・8月は下落、それ以降はほぼ前年と同様に推移した。

鶏	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績 (H28/H27)	H29 目標年
羽数 (千羽)	1,403	1,525	1,441	1,401	1,357 (97%)	1,375
生産量 (t)	15,700	14,645	14,049	13,641	13,231 (97%)	14,017

【28年産解説】  
採卵鶏の飼養羽数及び生産量については、飼養農家数の減少等により前年をやや下回ったが、肉用鶏については前年並であった。  
鶏卵価格は、前年度に引き続き需要が旺盛なこと等により、高水準で推移した。  
鶏肉価格は、前年度に引き続き需要の伸び等により堅調に推移した。

# 農用地と農業者の推移

## 【農用地の推移】

(単位:ha)

耕地面積	H22 (基準年)	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
水田	55,400	54,700	54,500	54,000	53,500
畑	55,800	55,700	55,500	54,900	54,500
普通畑	35,300	36,600	36,600	36,100	35,900
樹園地	16,200	15,800	15,600	15,500	15,400
牧草地	3,350	3,320	3,310	3,300	3,300
合計	111,200	110,400	109,900	108,900	108,000

資料:「耕地及び作付面積統計」

(単位:ha、%)

耕作放棄地	経営耕地 面積 A	耕作 放棄地 B	耕作 放棄地率 B/(A+B)	全国の 放棄率
H22 (基準年)	74,150	17,146	18.8	9.8
		10,892	12.8	5.6
H27 実績	69,761	16,776	19.4	10.9
		10,280	12.8	5.9

資料:「農林業センサス」(上段は土地持ち非農家を含む)

## 【農業者の推移】

(単位:戸、%)

農家数	総農家数	経営耕地面積規模別農家数					
		販売農家数		0.5ha未満	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0ha以上
		専業農家					
H22 (基準年)	117,316	62,076	16,742	74,124 (63.2)	25,067 (21.4)	12,737 (10.8)	5,388 (4.6)
H27 実績	104,759	51,777	17,229	68,115 (65.0)	20,316 (19.4)	10,939 (10.4)	5,389 (5.2)

資料:「農林業センサス」、( )内は構成比

(単位:人、%)

基幹的農業 従事者数	男						女						合計											
	15~29歳		30~49歳		50~59歳		60歳以上		15~29歳		30~49歳		50~59歳		60歳以上		15~29歳		30~49歳		50~59歳		60歳以上	
	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計	65歳以上	小計		
H22 (基準年)	643 (0.8)	3,344 (4.0)	4,146 (5.0)	36,662 (44.0)	31,768 (38.2)	44,795 (53.8)	191 (0.2)	2,548 (3.1)	5,141 (6.2)	30,572 (36.7)	25,709 (30.9)	38,452 (46.2)	834 (1.0)	5,892 (7.1)	9,287 (11.2)	67,234 (80.8)	57,477 (69.0)	83,247 (100.0)						
H27実績	625 (0.9)	3,272 (4.4)	3,144 (4.3)	33,108 (45.1)	29,034 (39.5)	40,149 (54.7)	203 (0.3)	1,965 (2.7)	3,515 (4.8)	27,635 (37.6)	23,659 (32.2)	33,318 (45.3)	828 (1.1)	5,237 (7.1)	6,659 (9.1)	60,743 (82.7)	52,693 (71.7)	73,467 (100.0)						

資料:「農林業センサス」、( )内は構成比

## 達成指標別進捗状況一覧

達成指標は30指標32項目

H28年度目標値 に対する達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	50%以上 80%未満	50%未満
指標項目数 【割合】	10 【31%】	10 【31%】	6 【19%】	5 【16%】	1 【3%】

[平成29年度目標を達成した指標項目数7項目]

施策の展開	No.	項 目		平成22年 (基準年)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年 (目標年)	H28実績値 /H28目標値	H28実績値 /H29目標値
① 夢ある農業を実現する 経営体の育成	1	経営を法人化した経営体の数	法人	計画値	810	840	906	900	106%	106%
			実績値	758	876	918	958			
	2	企業的農業経営体等の数	経営体	計画値	8,400	8,600	8,800	9,000	96%	94%
			実績値	7,939	7,991	8,267	8,415			
	3	担い手への農地利用集積率	%	計画値	44	46	50	53	82%	77%
実績値				39	41	41	41			
4	集落営農組織数	組織	計画値	228	240	260	250	126%	131%	
			実績値	212	249	281	327			
5	40歳未満の新規就農者数 (単年度)	人	計画値	250	250	250	250	88%	88%	
			実績値	190	253	244	220			
② 自信と誇りを持てる信 州農畜産物の生産	6	環境にやさしい米づくりの面積	ha	計画値	1,551	1,680	1,771	1,887	88%	83%
			実績値	1,226	1,322	1,420	1,561			
	7	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積(米)	ha	計画値	320	900	1,100	1,260	91%	80%
			実績値	0	588	913	1,002			
	7	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積(麦・大豆・そば)	ha	計画値	696	780	900	950	111%	105%
			実績値	311	761	877	996			
	8	果樹オリジナル主要品種等の栽培面積	ha	計画値	1,840	2,000	2,160	2,320	86%	80%
			実績値	1,190	1,639	1,763	1,860			
	9	りんご新しい化栽培面積	ha	計画値	280	350	420	500	61%	51%
			実績値	0	209	227	257			
	10	販売額20億円以上の野菜品目数	品	計画値	11	11	12	13	92%	85%
			実績値	11	11	11	11			
	11	生産量全国1位の花き品目数	品	計画値	6	7	7	8	100%	88%
			実績値	6	7	7	7			
	12	生産量全国1位のきのこ品目数	品	計画値	4	4	4	4	75%	75%
			実績値	4	4	3	3			
	13	信州サーモン生産量	t	計画値	330	345	360	375	104%	100%
			実績値	220	330	345	375			
	14	三倍体の大型イワナ生産量	t	計画値	0	0	20	30	5%	3%
			実績値	0	0	1				
15	信州プレミアム牛肉の認定頭数	頭	計画値	2,950	3,600	3,650	3,700	95%	94%	
		実績値	844	3,152	3,242	3,477				
16	エコファーマーの認定組織数	組織	計画値	200	230	270	310	82%	72%	
		実績値	126	179	213	222				
17	信州の環境にやさしい農産物認証面積	ha	計画値	1,780	1,900	2,040	2,200	94%	88%	
		実績値	1,483	1,627	1,763	1,926				
18	生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合	%	計画値	23	28	34	39	68%	59%	
		実績値	13	19	20	23				
19	農業用水の安定供給及び排水機能が確保される農地面積(H25～H29)	ha	計画値	3,000	15,000	18,500	20,000	90%	83%	
		実績値	—	12,561	14,920	16,652				
20	遊休農地の再生・活用面積(単年度)	ha	計画値	600	600	600	600	165%	165%	
		実績値	393	646	519	991				

施策の展開	No.	項 目		平成22年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	H28実績値	H28実績値
				(基準年)				(目標年)	/H28目標値	/H29目標値
③ 信州ブランドの確立とマーケットの創出	21	「おいしい信州ふーど(風土)」の認知度(県内)	%	計画値	60	65	70	75	77%	72%
				実績値	24	52	66	54		
	22	「おいしい信州ふーど(風土)」の認知度(県外)	%	計画値	10	15	20	25	70%	56%
				実績値	—	16	18	14		
	23	県が主催する商談会における農業者等と食品産業等との成約件数	件	計画値	100	150	200	250	104%	83%
実績値				—	108	158	208			
24	農産物等の輸出額	千円	計画値	123,000	200,000	315,000	500,000	179%	113%	
			実績値	—	206,000	386,172	563,656			
25	六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定数	件	計画値	90	94	94	94	99%	99%	
			実績値	—	91	91	93			
④ 農村コミュニティの維持・構築	26	都市農村交流人口	人	計画値	578,000	580,000	590,000	600,000	106%	104%
				実績値	546,544	599,351	604,427	624,909		
⑤ 地産地消と食に対する理解・活動の促進	27	農産物直売所数	店	計画値	830	830	835	840	96%	96%
				実績値	814	822	788	805		
28	食育ボランティア数	人	計画値	18,500	19,000	19,500	20,000	95%	92%	
			実績値	15,770	18,111	18,370	18,435			
⑥ 美しい農村の維持・活用	29	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	ha	計画値	25,537	39,650	44,650	50,000	91%	82%
				実績値	22,484	33,786	38,391	40,827		
	30	農業用水を活用した小水力発電の容量	kW	計画値	1,900	2,000	2,100	2,200	104%	99%
実績値				220	1,884	2,076	2,184			
31	農地等の安全確保面積(H25～H29)	ha	計画値	300	1,350	1,400	1,800	84%	65%	
			実績値	—	243	1,106	1,169			

基本方向	指標数	H28年度目標値に対する達成割合別指標項目数						
		100%以上	100～90	90～80	80～70	70～60	60～50	50%未満
①	5	2	1	2	0	0	0	0
	割合	40%	20%	40%	0%	0%	0%	0%
②	16	4	5	3	1	2	0	1
	割合	25%	31%	19%	6%	13%	0%	6%
③	5	2	1	0	2	0	0	0
	割合	40%	20%	0%	40%	0%	0%	0%
④	1	1	0	0	0	0	0	0
	割合	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
⑤	2	0	2	0	0	0	0	0
	割合	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
⑥	3	1	1	1	0	0	0	0
	割合	33%	33%	33%	0%	0%	0%	0%
計	32	10	10	6	3	2	0	1
	割合	31%	31%	19%	9%	6%	0%	3%